

3月11日 東北地方太平洋沖地震にみまわれました。  
この災害の影響を受けた皆様にお見舞い申し上げるとともに、  
亡くなられた方々に、スタッフ一同 心よりお悔やみ申し上げます。  
そして、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今までに経験したことのない震災による影響に何をすべきか、何からすべきかと考える日々を送っています。地震直後はすぐにでも津波の被災地に向けつけるべきではとも考えました。しかし、被害規模の大きさに関わらず弊社の近郊でも「復興」していかなければならない状況も見受けられますし、物流や電力、放射能といった想像を超えた影響にどう対応していくかが私たちがまず取り組むべき課題だと考えました。

弊社が最初に取り組めること、単純な発想かもしれませんが「節電」だと思いました。計画停電の行われる中、電気の大切さや生活でどれだけ必要な存在かを痛感されていると思います。メディアでは「1枚洋服を多く羽織り・・・」と節電を呼びかけていますが、冬よりも夏の電力不足は深刻な問題です。クーラーのない、いや扇風機すら使えない生活を余儀なくされる日が刻々と近づいています。昨年大きな話題となった熱中症のことも配慮しなくてはならず、問題山積です。時間と共に苛立ちからか、計画停電の不平等さへの不平不満の声も耳にするようになってきてしまいました。多少なりとも電気・電力の知識がある私共には、電力会社の混乱振りにも同情してしまう部分があります。批判されるべき点はあるにせよ、現実問題として、まずは電気を利用する私たちの心がけからスタートすることが大事ではないでしょうか？

予備電源などを使わないとか小刻みな照明のオンオフはもちろんですが、現代においては電力の無駄遣いの代表格である電球をLED電球に取り替えるのも有効な取り組みだと思います。蛍光灯電球も省電力ですが、点灯時に電力を多く使用する点とオンオフ回数の多さで寿命が短くなります。確かにLED電球価格は高めですが、消費電力を減らすことが出来れば計画停電の見送りに繋がります。そして熱をほとんど持たないという点は冷房効率にも一役買います。そこで**マジック☆はんどはLED電球への取替え工賃を無償で行うことにしました。**私共でLED電球をご用意する場合は**仕入原価**だけ頂戴いたしますが、LED電球をお持ちであれば階段灯等も無料で出張設置させていただきます。ささやかな取り組みですが、御賛同いただければ大変うれしく思います。

株式会社マジック☆はんど  
代表取締役

みんなの広場は今月はお休みさせて頂きました。